

STOP!! 東海第二原発の再稼働

すどっぷ

とうかいだいにげんぱつ

さいかどう

いばらき大集会

2019年 **11月16日(土) 13:30** 開場12:30

すんゆう

駿優教育会館 8階音楽ホール

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-1-42 TEL 029-227-5552

参加費無料

*どなたでもご参加いただけます

日本原電は、40年超の原発の再稼働方針を表明。
ともに茨城の地から、「再稼働NO!!」の声をあげましょう。

東海第二、止めるのは「今」!!

● 13:30～15:30

* 福島からの訴え

* 茨城からの訴え (集会賛同人 ほか)

● 15:50～16:30

* アピール行動 (デモ) 【雨天決行】

宮下銀座入口 → 南町自由広場



* 駐車場は周辺のコインパーキングをご利用ください。公共交通機関のご利用が便利です。

【主催】 STOP!!東海第二原発の再稼働いばらき大集会 実行委員会

<問合せ> 原発いらない茨城アクション実行委員会事務局

TEL 029-221-6811(相楽) 029-282-3619(相沢) 029-231-4555(花山) 029-251-2806(木村)



< STOP !! 東海第2原発の再稼働いばらき大集会 >

にお集まりください!! わたしたちは集会に賛同します

五十嵐 立青(つくば市長) 今泉 文彦(石岡市長) 島田 穰一(小美玉市長) 原 浩道(潮来市長)
上遠野 修(城里町長) 小林 宣夫(茨城町長) 染谷 森雄(五霞町長) 中島 栄(美浦村長)
原中 勝征(元日本医師会会長、医療法人大園病院理事長)
佐藤 洋一(茨城県生活協同組合連合会会長理事)
県北地区農業協同組合協議会(常陸農業協同組合、水戸農業協同組合、日立市多賀農業協同組合)
富田 修一(新ひたち野農業協同組合代表理事組合長) 浅野 健二(やさと農業協同組合代表理事組合長)
斉藤 功(茨城県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長)
藤田 宏之(奥久慈茶業組合長)
原口 弥生(茨城大学人文社会科学部教授) 蓮井 誠一郎(茨城大学人文社会科学部教授)
渋谷 敦司(茨城大学人文社会科学部教授)
佐藤 嘉幸(筑波大学人文社会系准教授) 伏屋 淑子(社会福祉法人淑徳会理事長)

～稼働から41年目、危険な老朽原発は再稼働させない!～

私たちは東海第二原発の再稼働を止めるため、私たち住民自身が声を上げようと2018年9月に大集会を開催しました。1000人が集まり、「原発を動かすな」の大きな声を上げることができました。

にもかかわらず、今年2月に日本原電は、東海第二原発の再稼働をめざすと明言しました。

東海第二発電所の再稼働は、この地に今生きる人も子どもたちの未来にとっても、大きな災厄を抱え込むことになります。福島第一原発事故で明らかになったように、その災厄とは、避けられない過酷事故の発生と大地と海洋の放射能汚染、人をはじめとする生き物の放射線被ばくであり、結果としての国土の喪失、ふるさと喪失であり、私たちはすべてを失います。

東海第二原発は高い人口密度を持つ地域に立地し、首都圏に一番近い原発です。ひとたび事故が起これば、被ばくなしで避難はできないし、避難先に長くとどまることもできません。首都は壊滅です。

周辺30キロ圏内の自治体に求められている実効性ある避難計画の策定は困難を極めており、原発を再稼働しないことが最も安全だと、誰も思っています。

東海第二原発の再稼働に伴う工事費用は、約3000億円と膨れ上がり、日本原電は自前で資金調達ができず、東京電力などからの借金に頼ろうとしています。日本原電には原発事故があったときの損害賠償など望むべくもない状態なのです。

東海第二原発の再稼働を止めるには、茨城県に住む人たちが「STOP!再稼働」の大きな声を上げていくことだと私たちは考えています。

東海第二原発は、1978年11月28日の営業運転開始から起算し、本年11月をもって41年目になる老朽化した原発であり、このような原発を絶対に動かしてはならないのです。

STOP!! Restarting Nuclear Power Plant in IBARAKI , Tokai.